

# 急性弛緩性麻痺・ エンテロウイルスD68について

2018.11.21

岐阜県保健環境研究所

# 急性弛緩性麻痺（AFP）患者の把握

- 平成30年5月1日から、感染症法 5 類感染症**全数把握対象**疾患に指定（15歳未満の患者が対象）

## 届出対象となった背景 ～ポリオAFPサーベイランスの導入～

- ◆ 世界保健機関（WHO）は、ポリオ対策の観点から、各国で15歳未満のAFP患者を把握し、ポリオでないことをウイルス検査により確認すること（ポリオAFPサーベイランス）を求めており、WHO加盟194ヶ国中179ヶ国で実施されていた（日本は未実施。2018年4月時点）。
- ◆ 日本では、平成24（2012）年まではポリオ定期接種に生ワクチンが使用されており、AFPを発症した患者にはポリオウイルス検査が行われていたため、ポリオAFPサーベイランスは実施してこなかった。
- ◆ 平成24年のポリオ不活化ワクチン導入後、患者発生の可能性が極めて低くなったことから、今後AFP発症者に対してポリオ検査が行われなくなってくる可能性が高まった。
  - 日本でもポリオAFPサーベイランスによりポリオが発生していないことを確認していくため、届出対象となった。

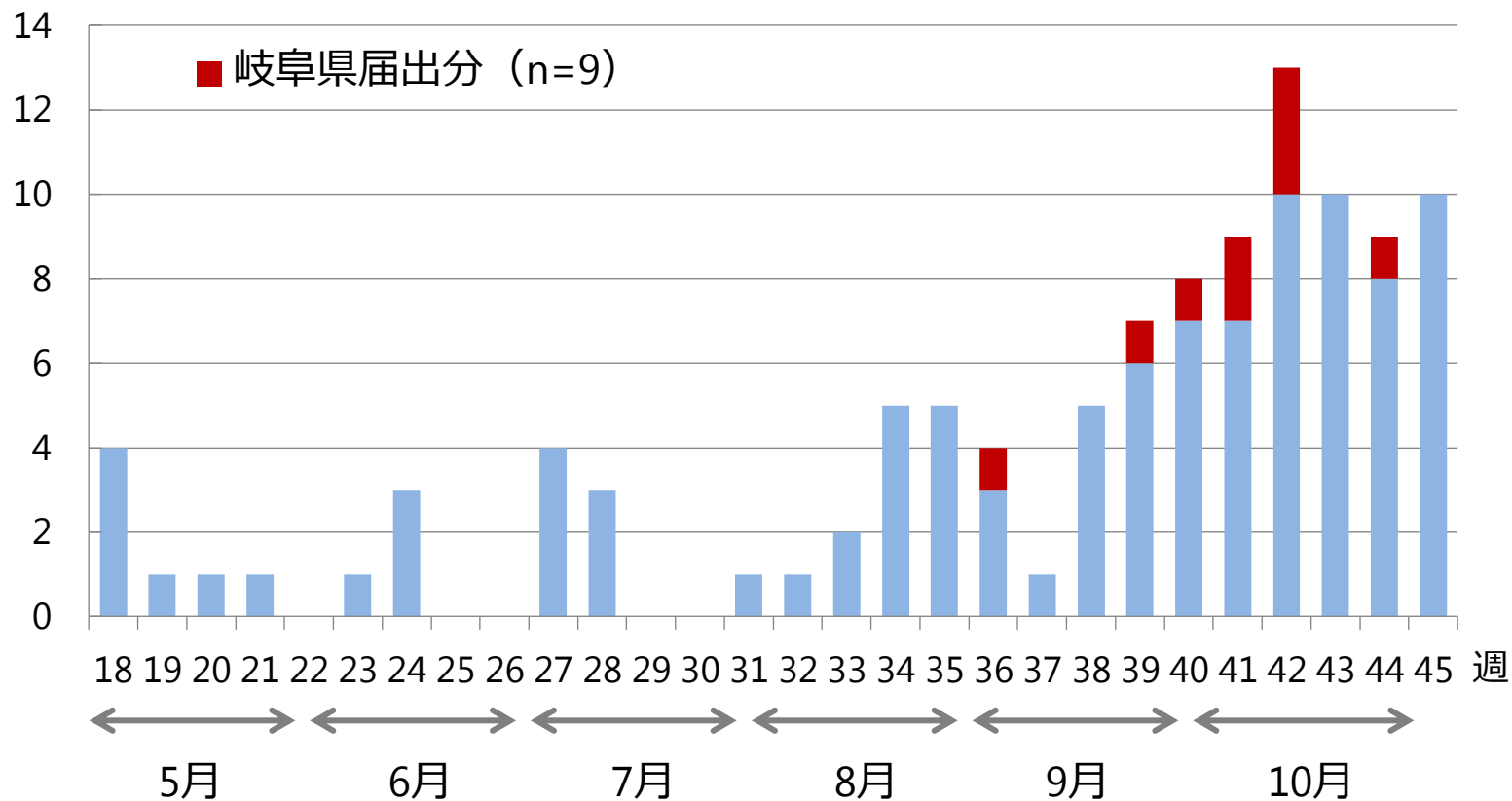
- 届出があった場合、検体を確保し、地方衛生研究所でウイルス検査を実施。
  - ポリオウイルス
  - 非ポリオエンテロウイルス（EV71、EV-D68等）
  - その他のウイルス

## 参考

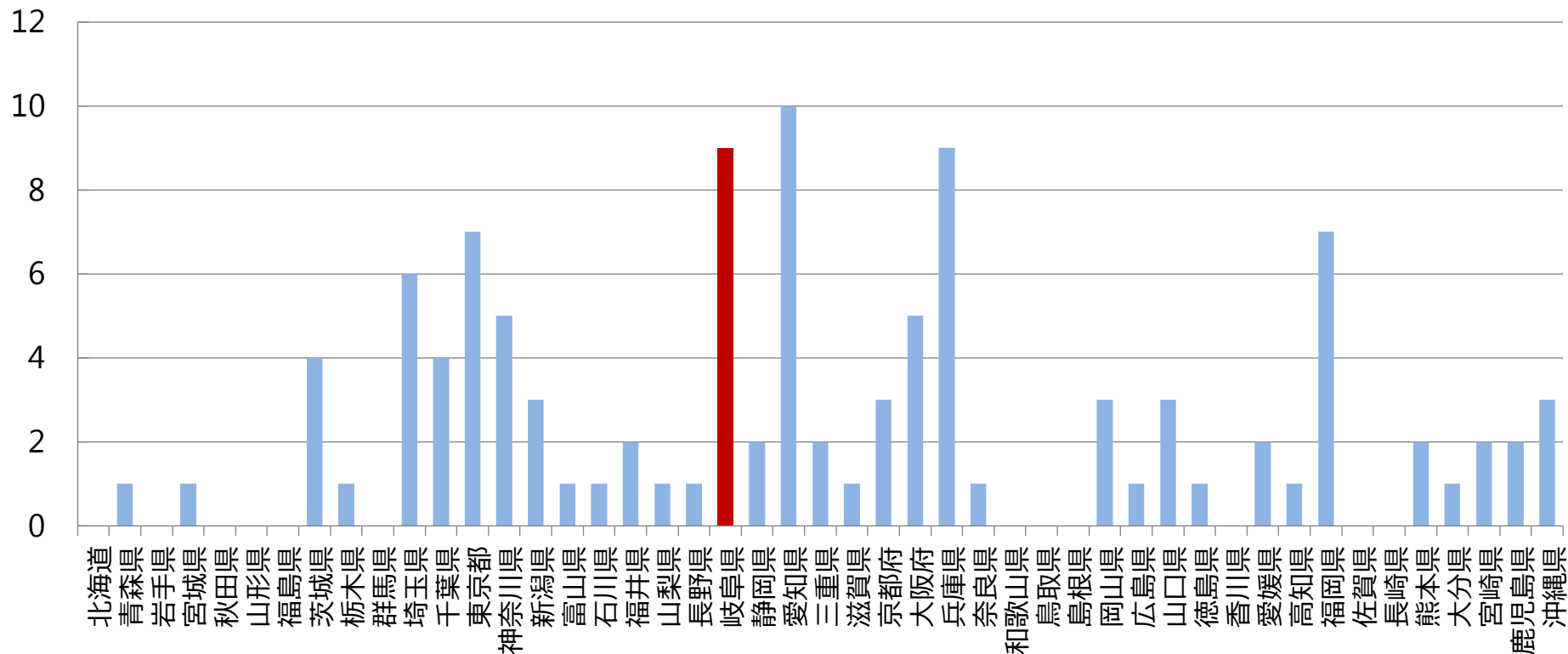
「急性弛緩性麻痺を認める疾患のサーベイランス・診断・検査  
・治療に関する手引き」

「エンテロウイルス等感染症を含む急性弛緩性麻痺・急性脳炎・脳症の原因究明に  
資する臨床疫学研究」研究班 平成30年4月

# 全国の届出状況 (2018年18~45週 (5/1~11/11) 、n=108)



# 都道府県別の届出状況 (2018年18~45週 (5/1~11/11) 、n=108)



# エンテロウイルスD68 (EV-D68)

- ピコルナウイルス科エンテロウイルス属  
(ポリオウイルス、コクサッキーウイルスなどと同属)
- 主要な臨床所見は呼吸器症状

## 米国での流行

- 2014年8月以降、米国各地でEV-D68感染症が流行  
...2014年8月～2015年1月に1,153例の検出事例、大部分が小児で喘息・喘鳴の既往歴あり
- 同時期に急性弛緩性脊髄炎が多発  
...2014年8月～12月に120例の急性弛緩性脊髄炎症例が報告され、  
ウイルス検査を実施した56症例中11例の呼吸器検体からEV-D68を検出

参考：急性弛緩性麻痺を認める疾患のサーベイランス・診断・検査・治療に関する手引き

「エンテロウイルス等感染症を含む急性弛緩性麻痺・急性脳炎・脳症の原因究明に資する臨床疫学研究」研究班 平成30年4月

→ 弛緩性麻痺とEV-D68の関連が疑われた

# 日本におけるEV-D68感染症の状況

- 2015年8月以降、地方衛生研究所におけるEV-D68検出報告が増加（主に呼吸器疾患患者の検体）
- 医療機関から喘息発作患者の増加の報告あり
- 同時期に小児を中心としたAFP症例の報告が国立感染症研究所に相次ぎ、一部の麻痺症例からEV-D68を検出

## これらの状況を受け...

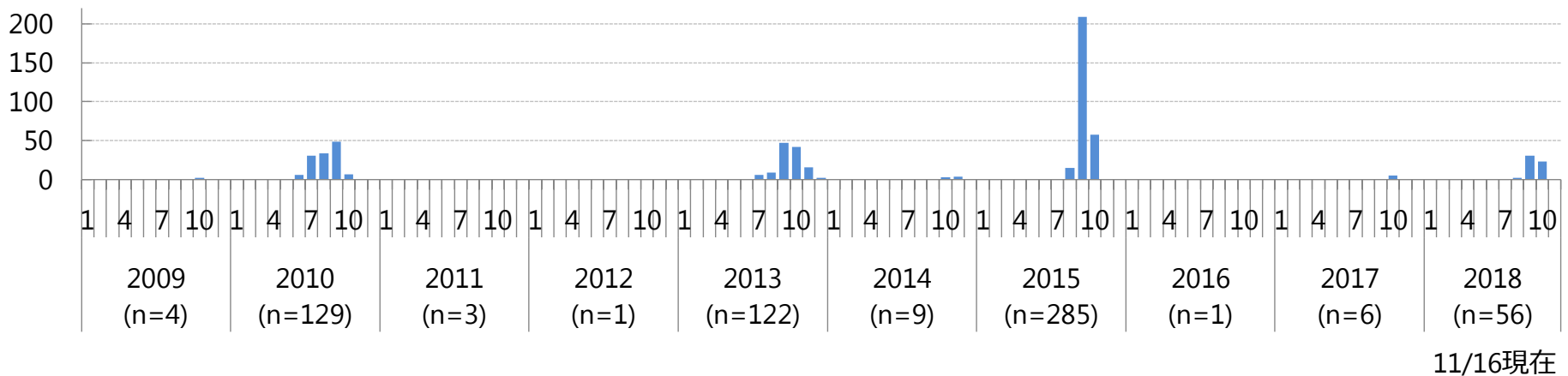
- 2015年秋、急性弛緩性麻痺の全国調査が実施された
  - ・ 一次調査：感染症法に基づく積極的疫学調査  
参考：「急性弛緩性麻痺を認める症例の実態把握について（協力依頼）」  
平成27年10月21日付け厚生労働省事務連絡
  - ・ 二次調査：研究班による疫学研究
- 調査の結果、2015年8～12月に、59人（年齢中央値4.4歳）のAFP患者が確認され、うち9人からEV-D68が検出された

参考：エンテロウイルスD68の発生と一時的に関連した急性弛緩性脊髄炎の臨床的特徴  
：日本における急性弛緩性麻痺の全国調査結果 2015年8～12月

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/epidemi/7703-epi-2017-1.html>

# 地方衛生研究所におけるEV-D68検出状況

検査対象 ・ 病原体定点から病原体サーベイランス対象疾患として検体提出されたもの  
・ 病原体定点・その他の医療機関から個別に病原体検索依頼を受けたもの  
※全国の地衛研で共通のルールに基づきEV-D68を検索する仕組みにはなっていない



<2005～2015年の検出症例（538例）の内訳>（2016年1月時点集計）

## 臨床診断名

下気道炎(40%)、上気道炎(19%)、気管支喘息(16%) ...約7割が呼吸器疾患  
急性弛緩性麻痺2例、急性片麻痺1例、末梢神経麻痺1例、脊髄炎1例

## 検体・検査法

PCRによる遺伝子検出が97%、細胞培養等による分離による検出が10%  
9割以上が呼吸器検体からの検出



# 弛緩性麻痺患者からのエンテロウイルスD68検出事例

## 2013年10月

- エンテロウイルスD-68型が検出された小児・乳児の4症例－広島県（IASR 2014年12月号）  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/5219-kj4184.html>

## 2015年9月

- エンテロウイルスD68型が検出された麻痺症状を呈する小児症例を含む2症例—青森県（IASR 2016年1月号）  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/2335-disease-based/a/ev-d68/idsc/iasr-news/6108-pr4304.html>
- エンテロウイルスD68型が検出された、急性弛緩性脊髄炎を含む8症例—さいたま市（IASR 2015年11月号）  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/6004-pr4286.html>

## 2018年9月

- 急性脳炎および急性弛緩性麻痺患者からのエンテロウイルスD68型の検出—広島市（IASR 2018年11月9日掲載）  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/8412-466p02.html>

# 届出対象となったことにより...

- WHOが求めるポリオAFPサーベイランスを実施
  - ...15歳未満の急性弛緩性麻痺患者を全例把握し、ポリオウイルス検査を実施しポリオウイルスが検出されないことを確認することで、国内でポリオの発生がないことを担保
- 急性弛緩性麻痺患者について地方衛生研究所で病原体検索を実施
  - ...急性弛緩性麻痺患者の大部分について、地衛研においてEV-D68を対象に含む検査が行われる見込み
  - ...エンテロウイルスD68を含め、ウイルス感染と急性弛緩性麻痺の関連性の解明に資するためのデータを蓄積